

令和7年8月吉日

会員各位

秋田県病院薬剤師会
会長 平泉 達哉
秋田県薬剤師会
会長 安田 哲弘

第50回卒後研修会開催のご案内

謹啓

盛夏の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、「第50回卒後研修会」を下記要領で開催致します。「斬る会」の開催が昨年で終了となり、卒後研修会は薬薬連携で共催する貴重な研修会となります。

つきましてはご多忙の折とは存じますが、多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

謹白

記

開催日時：令和7年9月6日（土）15:00～18:10

開催形式：現地参加のみ（定員30名）

開催場所：秋田県総合保健センター 3階 薬学研修室

定 員：30名程度（会場の都合により、定員を設けております）

参 加 費：秋田県病院薬剤師会・秋田県薬剤師会会員1,000円、非会員4,000円

— プログラム —

14:30 受付開始

15:00 開会の辞 一般社団法人 秋田県薬剤師会 会長 安田 哲弘

15:05～18:05 ハンズオンセミナー

「誰でもできる！～実践で身につく医療統計ハンズオンセミナー～」

- ・統計解析に必要な概念説明
- ・無料解析ソフトEZRを使った解析実習

講師：秋田赤十字病院 薬剤部 和地 徹 先生

18:05 閉会の辞 一般社団法人 秋田県病院薬剤師会 副会長 柴田 勝弥

※日本薬剤師研修センター認定研修、日病薬病院薬学認定薬剤師制度（II-6:2単位）取得予定。

研修の詳細並びにお申込みについては日本薬剤師会研修プラットフォーム（以下、研修PF）にてご確認ください。→<https://nichiyaku.manaable.com/>

【受講者の事前準備】

※研修会当日はご自身のノートパソコンをご持参ください。

※事前に下記のURLから統計ソフト(EZR:ダウンロード(Windows標準版))をインストールしてください。

<https://www.jichi.ac.jp/usr/hema/EZR/statmed.html>

（研修PFに説明資料を掲載しておりますので詳しくはそちらをご参照ください。）

※事前に研修会で使用する資料（デモデータ等）を研修PFからダウンロードしておいてください。

なお、やむを得ない事情により、ノートパソコンをご用意できない場合は、下記の問合せ先メールアドレスよりご相談ください。

申し込み期間：8/27（水）正午まで

問合せ先：秋田県薬剤師会 事務局<e-mail> info@akiyaku.or.jp

共 催：秋田県病院薬剤師会、秋田県薬剤師会

初心者歓迎

《補足情報》

●受講対象について

統計に関して「超初心者」の方を対象としています。

例えば以下のような方々です。

- ・そもそも自分の仕事や研究に、統計分析が必要なのかどうかも分からぬ方
- ・統計分析をしたいが、どのような手法をどのようなデータに使えば良いのか見当も付かない方
- ・自分で統計分析をやる必要はないが、部下に指示したり外部に発注したりしなければならない方
- ・実験計画法や多変量解析に取り組みたいが、まずはその基本である統計学をサクッと修得したい方、薬学懇話会などの資料作りに役立つかも…
- ・学生時代の統計学の授業は忘れてしまったが、最近、統計学に興味が出てきた方
特に若い方程復習のつもりで参加してみませんか？

●必要な予備知識について

「統計学を勉強したい」という気持ちのみ！本当の初歩から一緒に学びます。

●第50回卒後研修会に参加するメリットについて

- ・座学だけでは習得が難しいデータの取り扱いについて、実際に手を動かしながら学べる
- ・統計学が必要となる場面を判断できる
- ・統計学で出来ることと出来ないことの区別がつく
- ・一通りの基本的分析手法を知る
- ・どの場面でどの手法を使うべきなのかを判断できる
- ・実験計画法や多変量解析に取り組むための基礎知識が身につく
- ・統計ソフト（EZR）の基本的な使い方を学べる
- ・事後に見直せる資料データの配布（臨床で使用するほぼすべての解析手法についてデモデータを作成し、その解析方法をEZERの操作画面を示しながら解説し、結果の読み解き例まで記したもの）
- ・ご自身の研究における解析手法、研究計画における統計的検討、データの取り扱い、解析結果の解釈などについて個別相談も可能

《注意事項》

●申込み方法について

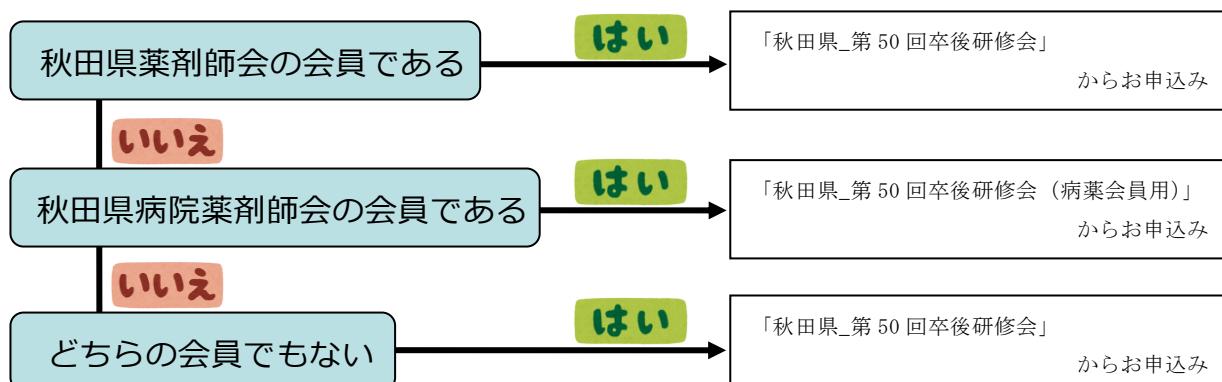
お申込みについては研修PFにて以下の研修会をお選びください。

＜「秋田県薬剤師会会員」または「県薬・病薬とも非会員」の方のお申込み＞

秋田県_第50回卒後研修会

＜秋田県病院薬剤師会会員（秋田県薬剤師会非会員）の方のお申込み＞

秋田県_第50回卒後研修会（病薬会員用）



●JPALS コード : 05-2025-0010-101

参考 PS (プロフェッショナルスタンダード)

- 1- 1- 1. 薬剤師として、生涯にわたって自ら学習する大切さを認識できる
- 2- 1-31. 臨床研究の主な研究デザインを説明できる
- 2- 1-32. 臨床研究のアウトカム指標（真と代用、主要と副次的）を説明できる
- 2- 1-33. 基本統計量（平均値、中央値、分散、標準偏差、標準誤差等）を説明できる
- 2- 1-34. パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の主な手法を説明できる
- 2- 1-35. 臨床研究に用いられる主な統計解析手法（相関分析、回帰分析、カプラン・マイヤー等）を説明できる
- 2- 1-36. 臨床研究に用いられる主な指標（相対リスク、絶対リスク、治療必要数、オッズ比等）を説明できる

以上の他、ご自身の学習計画に沿って実際に学習した内容に該当する PS を選び「学習した」にチェックを入れてください。

●研修単位について

※申込み時に必要な単位をお選びください（日本薬剤師研修センター認定研修単位と日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位との同時取得は不可）

※どちらの単位をお選びいただいた場合も研修 PF にて受講状況の確認をします。

- ①受付にて出席用 QR コードを読み込み、研修 PF に「出席登録」をします。
- ②研修会終了後も忘れずに退席用 QR コードを読み込み、「退席登録」をします

※日本薬剤師研修センターの認定単位を希望の場合は、上記受講確認の他、

- ・PECS に登録したご自身の QR コードを読み取り機にかざしてください。
- ・また、研修会終了後も同 QR コードを忘れずに読み取り機にかざしてください。

※日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位を希望の場合は、上記受講確認の他、

- ・キーワード受付時に用紙を受け取り、研修会終了時にご提出ください。

※当日参加での単位取得はできません。必ず事前に参加申し込みを行ってください。

さいごに

統計は、病院、薬局、行政のいずれの業務においても共通する

自分が言いたいことの根拠を述べる上で、最も有用なツール

であり、スキルアップになること間違いなしです！

皆様のご参加をお待ちしております。

学術委員会